



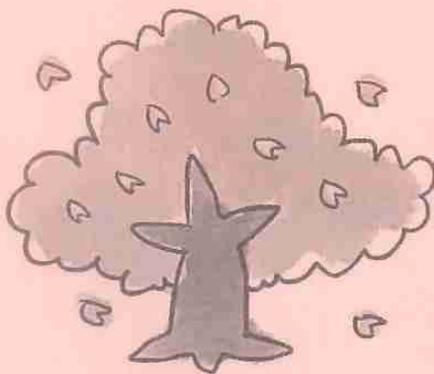
# 通信

電話048-480-4150

2020年4月30日発行

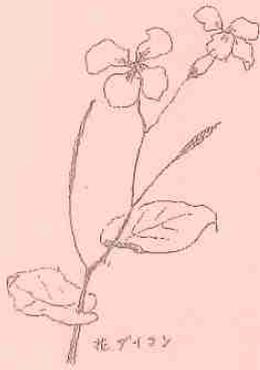


## 2020年 「お花見」



今年のお花見は、車の中からです。梅や桃、近所の菜の花…人間界の騒ぎをよそに、今年も春の喜びをいっぱいに咲かせてくれました。そして、楽しみにしていた桜の花は、栄緑道の花のトンネルで堪能。来年は花の下で楽しくお花見ができますように。

(グループホームえんスタッフ)



## — ウイルス禍の春に —

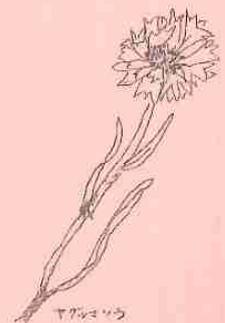
新型コロナウイルス禍の中で今年の春は過ぎました。暮らしネット・えんの日々は一見いつもと変わりませんが、経験したことのない緊張が続いています。認知症カフェやだれでも食堂にいざ、まどかコンサートと、えんが力を入れてきた行事をすべてお休みにせざるを得ませんでした。丁寧に説明し、質疑することをモットーとしてきた定例総会も今回は書面総会にいたします。残念ですが、いたしかたありません。どうぞご理解ください。

そんな中でうれしいことがありました。貴重な品々を相次いでご寄付いただいたのです。消毒液を送ってくださった見ず知らずの方、えんの入り口にマスク300枚を黙って置いていかれた方、中国から取り寄せたたくさんのマスクを寄付してくださった方、グループホームえん入居者の曾孫さんから可愛い応援メッセージ、ずっと以前の利用者さんご家族からも貴重なマスクをいただきました。心より御礼を申し上げます。

原子爆弾を作り、宇宙に飛び出し、臓器を移植する技術を手に入れても、予防法はマスクと換気に隔離、100年前のスペイン風邪の時と変わりません。たった1種のウイルスに世界中の人々が息をひそめて収束を待つ日々です。放射能もウイルスも、ほんとうに怖いものは目に見えないのですね。東日本大震災に続いて、今回も人間の力がどれほど小さいものか思い知らされました。「ほんとうに大切なものは目にみえない」とは星の王子さまですけれど、みんなで心おきなく笑いあったり、一緒に食事したり、ちょっとしたお出かけを楽しんだり、そんなあたりまえの暮らしがどんなに愛おしく大切なものか、今回の経験で今さらながら知りました。

それでも収束する日は必ず来ます。私たちは今回の経験をしっかり記録し記憶し、次につなげていきたいと考えています。

皆さま、くれぐれも健康に気をつけてお過ごしください。



代表理事 小島美里

※首都圏のNPO等と一緒に、総理大臣・厚生労働大臣・国会議員に宛て『訪問系サービスにおける新型コロナウイルス対策の要望書』を提出しました。ホームページに要望書と記者会見の動画をアップしています。

※前号でお伝えした『介護保険の崩壊を絶対に許さない！1.14院内集会』が岩波書店より、ブックレット「介護保険が危ない」にまとめられました。販売価格 620円です。

## 新型コロナウイルス、暮らしネット・えんでは

経験したことがない新しい感染症流行の中、スタッフは検温、マスク着用、手指の消毒、事業所内の消毒と密度を減らすための変更など、考えられる限りの対応実行中。現在進行形の報告をお送りします。

### ◆ケアプランえん◆

2月27日、新座市介護保険課長名で「介護施設や病院入院中の場合の認定調査が12カ月延長」の通達がある。次いで4月初旬には在宅でも本人や家族の希望があれば同様に。認定審査会は書面審査に切り替わった。事業所から新型コロナ対応についての連絡が次々届く。「面会・見学は禁止」、「ショートやデイは利用前に体温測定を行い、37.5℃以上（37℃以上もあり）の発熱や体調不良、風邪症状がある場合は利用を控える」、「家族や友人に濃厚接触者がいる場合は、14日間程度利用を控える」等々。

医療系のデイケアは休止する事業所が多く、希望があれば、理学療法士や作業療法士が自宅に訪問リハビリを提供する等の代替サービスが行われる。昼食の確保や入浴に影響が出る場合は、配食サービスや訪問介護等のサービス調整の必要が生じる。急遽数名に配食サービスを依頼した。

通常利用者宅で行う担当者会議も開催を見送り照会で行うようになった。通常の連絡も対面を避け、電話や書類のポストインでしのいでいる。

ここに来て、利用者本人が熱発したケースがあった。家族に寝たきりの方のオムツ交換ができる介護力はない。新型コロナ感染ではないことがはっきりするまでは、感染予防を徹底した上で訪問回数を減らし、何とか対応してもらった。幸い普通の発熱だったが、本人に感染疑いがある場合の「予行演習」のような一件となった。

### ◆デイホームえん◆

感染の拡大を受け、利用者さんご家族に利用回数や時間について相談しました。皆さんの近況や思いを受けて、4月13日から当面1人あたり週1回の利用、利用時間は通常通りとしました。また必要に応じて、臨時対応やご自宅への訪問を行っています。

利用回数を減らした結果、閉じこもりがちになっている方が多く、筋力や体力気力の低下が心配です。また、この状態が長引くとご家族の精神的な疲労も増していきます。訪問などで少しでもこの状態を防ぎ、「社会参加」できる機会を保ちたいと思います。

### ◆グループホームえん◆

入居者さんの体調管理については、スタッフがみなさんの平熱や健康状態を把握していますから、小さな変化も見逃さないように心がけています。また日々の業務の流れを見直し、清掃・消毒をより徹底して行えるようにしました。

ご家族には、2月22日より面会を遠慮して頂いています。入居者さんの外出は庭やごく近隣の散歩、車から降りないドライブにとどめています。ボランティアさんもほとんどの方がお休みされている現在、みなさんの環境ができるだけ閉鎖的にならないように、お庭でランチタイムにするなど、少しでも気分が明るくなるよう努めています。

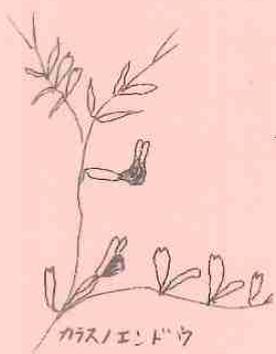
### ◆ケアサポートえん◆

緊急事態宣言が発令される前から、ケアサポートえんの利用者さんが利用している通所施設や短期入所施設のいくつかが休業し、自宅にいることになった利用者への訪問などで訪問の回数は増えています。

スタッフも、この騒ぎが収まるまでは仕事を休みたい、子どもの休校・休園で通常通り働けない等、今まで以上に調整が必要な状態ですが、現在は(4月末)出来る限り今まで通りの訪問を行っています。しかし生活援助で買い物に行けば、レジには沢山の人が並び頼まれた物も買えない、予定していた他の仕事ができない状態。介護は密着を避けようにも避けようがなく、「自分も感染するのでは」という恐怖と、「利用者さんにウイルスを運ぶ訳にはいかない!」という使命感とで、緊張の日々を送っています。

非常事態宣言が出て間もなく利用者さんが発熱、老々世帯の方で認知症があり、体調が悪くても出かけてしまう方です。万一に備え重装備で防護して対応しましたが、あの装備でのケアは本当にたいへんでした。

今後に備えて、防護衣やマスク、アルコール等をそろえておきたいのですが、必要量確保できない状態です。医療現場が優先ではありますが、介護業界にも行きわたるよう、国には早急に対応していただきたいです。



カラスノエンドウ



丁字草



ムラサキケマン



さやまがくばし



ホトケノザ

### ◆多機能ホームまどか◆

まどかでは接触を減らすために通いサービスの提供時間の短縮と時間差利用に踏み切り、訪問を増やすことに。通いで同時に過ごす人はスタッフも含め10人未満と、通常の半数まで絞りました。

個々に支援内容の優先順位を考え、全体のバランスを考えながら本人や家族と相談して決めました。「コロナが落ち着くまで、お休みします」と家族から連絡があったA子さんも、「煮詰まっちゃって」と短時間の通いを選択しました。迎え時間が変わったばかりの時期、Bさんは、「何時に迎えに来るの?」「コロナ対策で時間が変わったので」「ああ、わかった、待ってるね」と電話で会話、その数分後に「今日まどか?」。4週間経った今、電話はなくなり待っていてくれるようになりました。お迎えを1時間半遅くしたCさんは、「遅いんだもん」とまどかとは違う方向に歩いているところに遭遇したため、いつもどおりの時間にまた変更で納まりました。

プラスのこともありました。普段落ち着ける場所を探し部屋の中を動き回っているDさん、人口密度が減ったことで、笑顔が増えのびのびと歩いています。

### ◆えんの食卓◆

新型コロナウイルスの影響で、休みになったデイサービス利用者などから申し込みが急増、配達のコースも一つ増やしてがんばっています。

調理中はもちろん、前後も以前よりずっと念入りの消毒、手洗いをしています。配達業務では、配達一軒ごとに手指をアルコール消毒。基本はお顔を見ての手渡しですが、今だけは押印省略し置いてくるだけに。

必需品のマスクやアルコールが十分手に入らないのが悩みです。

今年のゴールデンウィーク、休まずに頑張ります!

### ◆グループリビングえんの森◆

えんの森は、数少ないいきまりごとである「みんなで一緒に夕食」を感染予防のために中止。使い捨ての弁当箱に入れて配り、各自のお部屋で召し上がっていただくことになりました。夕食時は貴重な交流の時間で、居住者さん同士の安否確認にもなっていましたから残念です。収束する日まで皆さんお変わりありませんように。



タチツボスミレ

## — 追悼 中曽根忠夫さん —



「定年後の素敵な生き方を紹介して」と言われたら、ためらわず中曽根さんを紹介するでしょう。その中曽根さんのことを知っていただきたくて、ご本人が最後にかつてお仕事でお世話になった方にあてて書かれた手紙と、先にえんの職員になっておられたお連れ合いの幸子さんの文章を載せることにしました。

体調が悪化した11月中もいつも通りに庭仕事にみえていたのに、12月2日に「お願いがあります」と、ご挨拶に見えました。「あと10日から1カ月の命と告知されました。小島さん、ぼくの葬儀で弔辞を読んでください」。それから4週間足らずの12月29日に亡くなりました。享年77歳。

この春も、彼が整えてくれたえんの庭は花々が咲きそろい、コロナ騒動でザワザワする気持ちを和ましてくれています。「中曽根さん、何があっても前を向いて歩いて行きますからね」と、花々の向こうにいる彼に話かいています。

小島美里



### 最後の手紙

お懐かしいS先生へ

S先生、懐かしい。こうしてお手紙を書くことになるとは信じられません。先生に教えてもらって、一日一日が楽しくて胸が一杯でした。時代の流れもあって、元のサラリーマンになりましたが、何の後悔もありませんでした。大事な家族と家が残りましたから。

60才定年に合唱団に入って、楽譜が読めるよう勉強したんですよ。そしてヘルパーの資格をとって職につき、楽しく15年間働きました。その間、腹話術を学び、お人形も自分で作って腹話術師として、あっちの施設こっちの幼稚園、小学校、老人会と、その数300回を越えました。マジックやバルーンアート、紙切りとその種類を増やしていき、もうやることはやりました。

今ベッドの上のテーブルで書いていますが（A病院）、もう私の人生に満足しています。ありがたいことです。

- ・最近の先生の作品、迫力ありますね。特にパラオ・シリア・アラブ・フィジーの作品はみごと、喜ばれたでしょう。
- ・年はとってても頭は冴えてるんですね。M子ちゃんはしっかり育ってるし…。

少し疲れてきたので筆をおきます。世間は100才時代、益々のご活躍をお祈り致します。

2019. 12. 10記

中曽根忠夫

## ～ダメジャー中曽根のこと～

主人が亡くなりまして早や二ヶ月“やりたい事はやり抜き、思い残すことはない”と主人が言い切れたことは“えん”があつてのことと思います。定年後、えんでの仕事とボランティアをする事が楽しくて仕方ないと毎日通っていました。えんでの庭造りと畑仕事、そして腹話術で皆さんに楽しんでもらう、次々と新しいことを考えながら挑戦していきました。

そして、ついに三年前には自分の人生の集大成ともいうべき“ダメジャー中曽根の個展”をスタッフの子供たちの作品も巻き込んでえんのリビングで開催しました。前職の手描友禅の額絵や着物の下絵などと共に全て自分で作った腹話術のお人形たちも飾り、大変好評でした。

最後となりましたが、去年の四月には、お茶会をさせていただきました。学生時代にやっていたお茶のお点前を皆と一緒にやりたいと、スタッフや利用者さんをお客様として（もちろん主客は代表）飾る額から主菓子迄吟味して揃え、点て出しをする。これもずっと昔からの自分の夢だったのでですね。

これらの主人の無茶振りをえんの代表始めスタッフの方々が全て心良くOKして下さり、それ以上に応援していただき、思いっ切りやりたい事を全てやれた事が冒頭の“思い残すことはない”と言わしめたのだと今つくづく思います。

えんの皆様、こんな主人に温かく付き合ってください、エンターテイナーとして花開いた十四年間本当にありがとうございました。

令和2年2月末 中曽根幸子



2017年『ダメジャー中曽根』の個展

### ～中曽根さん

#### 手作りの腹話術の人形たち～



森のメルヘン

だちょうのぐらちょ

妖精ハッピー

## 定例総会のお知らせ

### 2020 年度定例総会の書面開催について

今期総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、書面議決を行います。

送付いたします総会議案書をご確認いただき、2020 年 7 月 12 日までに、書面表決書を返送していただく形を取ります。議決につきましては、ご提出いただいた書面表決書のうち、賛成が過半数に達した場合に可決といたします。会員の皆様には、議案書送付時に質疑・議決の方法等について説明書を添えますので、ご確認ください。

いつもの形を取れませんことは、まことに残念ですが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

### 今後の地域交流事業について

認知症カフェ 8 月まで中止の予定

だれでも食堂にいざ 当面中止とさせていただきます  
必ず再開いたしますので、お待ちください！

### ～ 職員大募集！！ ～

暮らしネット・えんで一緒に働いてみませんか？

ヘルパー(訪問介護職員)・介護職員募集しています。

資格がない方も資格取得のお手伝いをいたしますので、ご相談ください。

地域で暮らし続けていくために 2019年度新規・継続会員募集中！

正会員：1000 円 賛助会員：3000 円

※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。



■ 編集・発行 認定NPO法人暮らしネット・えん

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

電話：048-480-4150 FAX：048-201-1311

Eメール：npoenn@jcom.home.ne.jp

ホームページ：<https://npoenn.com/>